

高畠高生の活躍

10月8日(水)に高畠町雇用対策協議会・高畠町役場商工観光課との共催で1年次の「WAKU WAKU WORK」の様子が山形新聞に掲載されました。計10の事業所からご協力いただき、木工・調理・介護などの仕事を体験させていただきました。

高畠町の高畠高(長岡靖校長)で8日、職業体験「WAKU WAKU WORK」

年生41人が地元事業所の仕事の魅力を学んだ。

ブロック移動 難しさ実感

高畠高 職業体験会、10事業所ブース



クレーン車のリモコン操作を教わる生徒
＝高畠町・高畠高

製造業や小売業など10事業所がブースを設置した。建設業者のブースでは、クレーン車のリモコン操作を体験し、重さ約120kgのブロックを移動させた。平間宏汰郎さん(15)は「力加減が難しかった。重さがあるため、少しの違いでブロックが大きく動いてしまう」と手こずっていた。

若者の地元就職を促すことを目的に、町と町商工会で組織する町雇用対策協議会(山村義美会長)が毎年開催しており、6回目。

(甲斐根敬亮)

令和7年10月16日(木)「山形新聞」から